令和5年度　　江戸川区立小岩第五中学校　『特別の教科　道徳』教育全体計画

【法的根拠】
日本国憲法
教育基本法
学校教育法
学習指導要領

学校の教育目標
〇健やかな人
〇知性に富む人
〇心豊かな人
〇勤労を尊ぶ人

【地域の実情】保護者は非常に協力的である
【学校の実情】落ち着いている。
【生徒の実態】明るく協調性がある反面、自己中心的で自主性に乏しい。また、意志が弱くあきらめやすい。
【教師の願い】自己実現に向けて努力する生徒・集団のために尽くす生徒・自然や生命を尊ぶ生徒を育てる。
【保護者の願い】思いやりのあるやさしい子・粘り強い子・他人に迷惑をかけない子・自ら学ぼうとする子を育てる。

本校の道徳教育の重点目標
思いやり・感謝

各学年の指導の重点

第1学年・まじめな学習態度を養い、基礎学力の向上、定着を図る。→授業規律の徹底。
・基礎的な生活習慣の確立と集団生活のルールを身につけさせ、円滑な人間関係づくりを図る。
・課題や目標に向かって努力する態度を養い、達成感を持たせる。
・行事などを通して、将来について意識できるよ

第2学年・集団生活の中で自分も他人も大切にし、思いやりや節度ある行動を身につけさせるとともに、行事や部活動などを通し、仲間と協力して学校生活を遂らせる。
・基本的生活習慣を身につけさせ、規範意識を持たせる。
・授業規律を確立し、自主的に学習に取り組む姿勢を身に着けさせる。
・生徒一人ひとりが何事にも積極的に取り組むことを目指し、役割を持たせ、責任を果　たせる。

第3学年・一人ひとりが何事にも積極的に取り組み、最高学年として全校の手本となる生徒
・健康な身体と健全な心を養い、お互いを尊重し、思いやりの心を持つ生徒
・授業に真剣に取り組み、個々の学力・体力向上を目指す生徒
・自分の進路について真剣に考え、将来について

特別支援級
・身辺自立の確立と処理
・集団生活への参加と社会生活の理解
・個性・能力に応じた指導
・体力づくり
・想像力づくり

各教科

国語
言語活動を通して、正確に理解したり、適切に表現したりする資質・能力を身に付ける。

社会
地理、歴史、公民の授業を通し自国を理解するとともに、国際社会にも関心を持った公民としての基礎を養う。

数学
数学の基本を習得し、自らそれを活用しようとする意欲およびその能力を身につける。

理科
自然と共生し、生命の尊重する態度を養う。

音楽
音楽を愛好する心情や感性を育み、表現力や豊かな情操を養う。

美術
美術を愛好する心情や感性を育み、

保健体育
さまざまな運動体験を通して、ルールを守って集団に参加し協力する態度を

技術・家庭
家庭生活、地域の人とのかかわりを

外国語
英語やその背景にある文化を理解し、英語で表現する力を身につける。

読書科

特別の教科　道徳

各学年の重点内容項目

1年
・社会の一員として責任を持ち役割を果たす。
・個性を伸長し、偏見や差別のない思いやりのある心を育てる。
・社会で学ぶことを機に、自分の生き方や進路について考えさせる。

2年
・自他の尊重と思いやりの心を育成する。
・明るく心のこもった挨拶が飛び交うようにする。

3年
・他の人の生き方に学ぶと共に、自分の生き方を真剣に考えさせる。
・人間としての誇りを持ち、社会の一員としての自覚を深める。

特別支援級
・他のためになることをすすんで行う心を養う。

指導方針
・どの子も育つ．．．の考えのもと、個に合わせた教育を行う。教育活動全体を通して系統的・計画的に行う。
・思いやりのある心を育て、自他問わず生命及び人間尊重の精神を養う。思いやりの心を自ら社会の役に立つよう努める心を育てる。

指導の工夫
・各教科や特別活動との関連を図る。
・グループによる話し合い活動を取り入れる。
・生徒の発達の段階や特性を考慮し、指導のねらい　に即して、問題解決的な学習等を適切に取り入れる。

特別活動

学級活動
自分の意見を主張しつつ、他の意見を尊重することで協力する心を育て

生徒会活動
様々な活動の中で、協力する心や社会性を養う。自主自立の心を身につけ

学校行事
生徒の活躍の場を十分に確保し、生徒の自主的な活動ができるよう教師が助言、アドバイスを行い、支えること

総合的な学習の時間

「学ぶ」を全学年のテーマにし、様々な物・人から学ばせることにより、自ら課題を見つけ、自ら考え、課題を解決する能力を育成する。

生活指導
・生徒相互、教師と生徒の望ましい人間関係を確立させる。
・自他を共に尊重する態度を養う。
・人権意識や感覚を高めるとともに、命を大切にする心を育てる。

環境整備
・全員清掃を行うことによって学校内の環境美化に努める。
・言語環境を整える

家庭・地域との連携
・道徳地区公開授業を実施し、公開した道徳の授業の意見等を聞き、授業改善に活かしていく。
・道徳通信を発行し、本校の道

推進体制
教務部の中に道徳主任、各学年に1名ずつの担当者を置く。
授業については学級担任を中心に進めていくが、学校全体・学年体制でも取り組んでいく。